作成日　2026 年 10 月 26 日　（第 2 版）

安全データシート

1．製品及び会社情報

製品名		ダイダロス 1 キロ粒剤
デザインコード		A24949A
会社名		シンジェンタジャパン株式会社
	住所	〒104－6021 東京都中央区晴海 1 丁目 8 番 10 号オフィスタワーX　21 階
	担当部門	HSE グループ
	電話番号	03－6221－1027
	E メールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
	緊急連絡先	同上
	急性中毒の緊急問い合わせ先	日本中毒情報センター 中毒 110 番 一般市民向け受信相談(情報料無料): 大阪 (365 日・24 時間): 072-727-2499 つくば(365 日・24 時間): 029-852-9999 医療機関専用有料電話(Syngenta 負担): 大阪 (365 日・24 時間):072-726-9923 つくば(365 日・24 時間): 029-851-9999
推奨用途		除草剤
使用上の制限		推奨用途以外の用途に使用する場合は、専門家の判断を仰ぐこと。

2．危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

眼刺激性	区分 2B
生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	区分 1A
生殖毒性	－
授乳に対する又は授乳を介した影響	追加区分
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2 (呼吸器、免疫系、腎臓)
水生環境有害性 短期(急性)	区分 1
水生環境有害性 長期(慢性)	区分 1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語　危険

危険有害性情報

H320 眼刺激
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い。
H350 発がんのおそれ。
H362 授乳中の子に害を及ぼすおそれ。
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（呼吸器、免疫系、腎臓）の障害のおそれ。
H400 水生生物に非常に強い毒性。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

安全対策
P203 使用前にすべての安全説明書を入手し、読み、従うこと。
P260 粉じんを吸入しないこと。
P263 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P264+P265 取扱い後は手をよく洗う事。眼には触らないこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを使用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P318 ばく露またはその懸念がある場合は医学的助言を求めること。
P319 気分が悪い時は診察を受けること。
P337+P317 眼の刺激が続く場合：医療処置を受けること。
P391 漏出物を回収すること。

保管
P405 施錠して保管すること。

廃棄
P501 内容物/容器を都道府県または市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非常事態の概要　粉じん雲の濃度が爆発範囲に入るおそれがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法(ENCS)/ 安衛法(ISHL)番号
ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6-(4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル)-5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(別名: フロルピラウキシフェンベンジル)	1390661-72-9	0.5	8-(1)-4461
1-(3ークロロ-4,5,6,7-テトラヒドロピラゾロ[1,5-a]ピリジン-2-イル)-5-[(シクロプロピルメチル)アミノ] -1H-ピラゾール-4-カルボニトリル(別名:シクロピラニル)	1651191-47-7	0.9	ー
2'-[(3,3-ジメチル-2-オキソアゼチジン-1-イル)メチル]- 1,1,1-トリフルオロメタンスルホンアニリド(別名:ジメスルファゼット)	1215111-77-5	1.5	8-(1)-4356
二酸化ケイ素	14808-60-7 7631-86-9	> = 1 - < 10	1-548
ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート	577-11-7	> =0.1 - < 1	2-1623, 2-1620/ 2-(4)-384
アクリル酸重合物のナトリウム塩	9033-79-8	> = 0.1- < 1	6-901

4. 応急措置

一般的アドバイス	緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意すること。
吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移す。 呼吸が不規則または停止している場合は、人工呼吸を行う。 患者を暖かく安静にしておく。 直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣服を脱がせる。 直ちに多量の水で洗い流す。 皮膚の炎症が続く場合は、医師に連絡する。 汚染された衣服は再使用する前に洗濯する。
眼に入った場合	直ちに、最低 15 分間はまぶたの内側も含め、多量の水ですすぐ。 コンタクトレンズをはずす。 直ちに医師の診察を受ける必要がある。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受け、この容器ないしラベルを見せる。無理に吐かせない。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	特定されていない. 知られていないか予想されない症状。 遺伝性疾患のおそれの疑い。 発がんのおそれ。 授乳中の子に害を及ぼすおそれ。 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。
医療関係者への情報	解毒方法は分かっていない。 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

消火剤	小規模火災時:	水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用する。
	大規模火災時:	耐アルコール性泡消火剤、水噴霧
使ってはならない消火剤	棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。	
特有の危険有害性	可燃性有機成分を含有するため、火災により危険有害な燃焼生成物を含む濃い黒色の煙が生成する(「10. 安定性及び反応性」参照)。	
	分解生成物へのばく露は健康を害する可能性がある。	
有害燃焼副産物	炭素酸化物	
	窒素酸化物 (NOx)	
特有の消火方法	火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止する。	
	水を噴霧して密閉容器を冷却する。	
消火を行う者の保護	完全な保護服と自給式呼吸器を着用する。	

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い必要に応じて保護具を着用する。 粉じんの発生を避ける。
環境に対する注意事項	河川または下水システムに排水しない。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
封じ込め、浄化の方法及び機材	漏出物を閉じ込め、防爆型電気掃除機または湿ったブラシに より集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる (項目 13 を参照)。 汚染面を十分に浄化する。 洗剤で拭く、溶剤は避ける。 汚染された洗浄水を回収し、処分する。

参照すべき他の項目

処分上の配慮については項目 13 を参照。「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	皮膚や眼への接触を避けること。 使用中は飲食及び喫煙を禁止する。 個人保護については項目 8 を参照する。 粉じん爆発が起こる可能性がある。
接触回避	知見なし。

保管

安全な保管条件	容器を密閉して、乾燥した、涼しく換気の良い場所で保管する。 子供の手の届かないように保管する。 食品、飲料水、動物の餌から離しておく。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度

成分	CAS 番号	指標	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
フロルピラウキシフェンベンジル	1390661-72-9	TWA	1 - 5 mg/m^3	Syngenta OEB, (2026 年)
シクロピラニル	1651191-47-7	TWA	< 0.1 mg/m^3	Syngenta (2025 年)

設備対策

ばく露が避けられない場合、密閉および/または隔離することが、技術的に最も確実な防御手段となる 。
保護対策の範囲は、使用時のリスクによって異なる。
空気濃度を管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度値以下に保つ。
必要に応じて、追加の労働衛生に関連する情報を求める。

保護具

呼吸用保護具
労働者がばく露限界値を超える濃度にさらされる場合、適切な認定を受けたマスクを着用する。

手の保護具
備考
必要に応じて適切な保護手袋を着用すること。
適切な手袋を選ぶには、素材のみでなく、その他の品質に関する特徴を考慮する。
手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。
手袋に劣化または薬品の浸透を示す兆候がわずかにでもある場合は、手袋を破棄し取り替えなければならない。

眼の保護具
必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。
ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具
適した身体防具を選ぶには、そのタイプ、危険物質の濃度や量そして特定の作業場を考慮する。
汚染された衣服は洗浄してから再使用する。
微粒子不浸透性保護服を必要に応じて着用する。

保護対策
個人用保護具ではなく技術的対策を優先する。
個人用保護具の選定については専門家のアドバイスを求める。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
色	類白色～淡褐色
臭い	データなし
臭いのしきい(閾)値	データなし
融点／凝固点	データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性(固体、気体)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	

爆発範囲の上限 / 可燃上限値	データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	データなし
引火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼価	データなし
かさ密度	データなし
自然発火温度	データなし
最低点火温度	データなし
溶解度	
水溶性	データなし
溶媒に対する溶解性	データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
見かけ比重	0.9 ～1.2 g/cm^3
相対ガス密度	データなし
爆発特性	データなし
酸化特性	データなし
自己発熱性化学品	データなし
表面張力	データなし
最低点火エネルギー	データなし
粒子サイズ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	合理的に予想できるものは、なにもない。
化学的安定性	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
避けるべき条件	指示通り使用すれば分解しない。
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	危険な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報成分の情報は

可能性のあるばく露経路の情報	飲み込んだ場合 吸入した場合

皮膚に付着した場合
眼に入った場合

急性毒性

入手可能なデータより、分類されない。

製品

急性毒性(経口)	LD50(ラット、メス): > 2000 mg/kg この物質は急性の経口毒性はない。
急性毒性(経皮)	急性経口毒性試験結果より、試験免除 この物質は急性の経皮毒性はない。

成分

フロルピラウキシフェンベンジル

急性毒性(経口)	LD50(ラット、メス): > 5000 mg/kg
急性毒性(吸入)	LC50(ラット、オスおよびメス): > 5.23 mg/L 試験環境:ダスト この物質は急性の吸入毒性はない。
急性毒性(経皮)	LD50(ラット、オスおよびメス): > 5000 mg/kg

シクロピラニル

急性毒性(経口)	LD50(ラット、メス): > 2000 mg/kg
急性毒性(吸入)	LC50(ラット、オスおよびメス): > 2.05 mg/L 試験環境:ダスト この物質は急性の吸入毒性はない。
急性毒性(経皮)	LD50(ラット、オスおよびメス): > 2000 mg/kg

ジメスルファゼット

急性毒性(吸入)	LC50(ラット、オス): >5.19 mg/L 試験環境: ダスト この物質は急性の吸入毒性はない。

皮膚腐食性/刺激性

入手可能なデータより、分類されない。

製品

種	ウサギ
結果	刺激性なし。

成分

フロルピラウキシフェンベンジル

結果	動物への刺激性なし。

シクロピラニル

種	ウサギ
結果	刺激性なし。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

中程度の刺激性あり(区分 2B)

製品

種	ウサギ

結果	中程度の刺激性あり。投与 7 日後、回復。

成分

フロルピラウキシフェンベンジル

結果	動物に軽度の刺激あり。

シクロピラニル

種	ウサギ
結果	刺激性なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

製剤毒性試験で感作性なし。

呼吸器感作性

データが不足しているため、分類できない。

製品

試験タイプ	局所リンパ節増殖試験（LLNA）
種	マウス
結果	皮膚感作性なし。

成分

フロルピラウキシフェンベンジル

試験タイプ	局所リンパ節増殖試験（LLNA）
種	マウス
結果	皮膚感作性あり。区分1に該当。

シクロピラニル

試験タイプ	マキシマイゼーション試験
種	モルモット
結果	皮膚感作性なし。

ジメスルファゼット

試験タイプ	局所リンパ節増殖試験（LLNA）
種	マウス
結果	皮膚感作性なし。

生殖細胞変異原性

遺伝性疾患のおそれの疑い。

成分

フロルピラウキシフェンベンジル

生殖細胞変異原性	遺伝子の突然変異への影響はなし。

シクロピラニル

生殖細胞変異原性	遺伝子の突然変異への影響はなし。

結晶質シリカ

生殖細胞変異原性	区分 2 に該当。

発がん性

発がんのおそれ。

成分

フロルピラウキシフェンベンジル

発がん性	動物試験において、発がん性は認められなかった。

結晶質シリカ

発がん性	区分1A に該当。

生殖毒性

授乳中の子に害を及ぼすおそれ。

成分

フロルピラウキシフェンベンジル

生殖毒性	動物試験において、生殖毒性は認められなかった。

ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート

生殖毒性	ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1,4-ジオキソブタン-2-スルホナートを0.1-1%含有するため、区分2、追加区分（授乳に関する影響）に該当とした。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

入手可能なデータより、分類されない。

成分

フロルピラウキシフェンベンジル	特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さなかった。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（呼吸器、免疫系、腎臓）の障害のおそれ。

成分

フロルピラウキシフェンベンジル	顕著な有害影響はみられなかった。
結晶質シリカ	区分1に該当する結晶質シリカを1-10%含有するため、区分 2（呼吸器、免疫系、腎臓）とした。

誤えん有害性

区分に該当しない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に非常に強い毒性。
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

製品

魚毒性	LC50(ニジマス): 209 mg/L ばく露時間: 96 h 試験タイプ: 止水式試験

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性（急性毒性）	EC50(オオミジンコ): 32.6 mg/L ばく露時間: 48 h 試験タイプ: 止水式試験
藻類／水生植物に対する毒性	ErC50（緑藻）: 0.2266 mg/L ばく露時間: 72 h 試験タイプ: 止水式試験/振とう培養

成分

フロルピラウキシフェンベンジル

魚毒性	LC50(ニジマス): > 0.0490 mg/L ばく露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性（急性毒性）	EC50(オオミジンコ): > 0.0623 mg/L ばく露時間: 48 h
藻類／水生植物に対する毒性	ErC50（緑藻）: > 1 mg/L ばく露時間: 72 h
魚毒性(慢性毒性)	NOEC(ファットヘッドミノー) : 0.0370 mg/L ばく露時間:33 d
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性（慢性毒性）	NOEC（オオミジンコ）: 0.0378 mg/L ばく露時間:21 d

シクロピラニル

魚毒性	LC50(コイ): > 2 mg/L ばく露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	EC50(オオミジンコ): 2 mg/L ばく露時間: 48 h
藻類／水生植物に対する毒性	ErC50（緑藻）: 0.572 μg/L ばく露時間: 72 h

残留性・分解性 データなし

生体蓄積性 データなし

成分

フロルピラウキシフェンベンジル

n-オクタノール／水分配係数（log 値）	log Pow: 5.5

シクロピラニル

n-オクタノール／水分配係数（log 値）	log Pow: 3.2

土壌中の移動性 データなし

オゾン層への有害性 データなし

他の有害影響 データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物	薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しない。 廃棄物を下水へ排出してはならない。

	可能ならば、廃棄や焼却処理より再利用する方が好ましい。 リサイクルできない場合は、地域の規制に従って処分する。
汚染容器及び包装	残りの内容物を空にする。 容器は 3 回すすぐ。 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。 空の容器は再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送

国連番号	UN3077
国連輸送名	環境有害性物質(固体)(別に規定のないもの)(フロルピラウキシフェンベンジル, シクロピラニル, ジメスルファゼット)
国連分類	9
容器等級	III
ラベル	9
環境有害性	該当
備考	この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

航空輸送

国連番号	UN3077
国連輸送名	環境有害性物質(固体)(別に規定のないもの)(フロルピラウキシフェンベンジル, シクロピラニル, ジメスルファゼット)
国連分類	9
容器等級	III
ラベル	9 その他有害性物件
梱包指示(貨物機)	956
梱包指示(旅客機)	956
環境有害性	該当
備考	この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

海上輸送 9

国連番号	UN3077
国連輸送名	環境有害性物質(固体)(別に規定のないもの)(フロルピラウキシフェンベンジル, シクロピラニル, ジメスルファゼット)
国連分類	9
容器等級	III
ラベル	9

EmS コード	F-A, S-F
海洋汚染物質	該当
備考	この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当

国内規制

特定の国内規制については、「15.適用法令」を参照

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのためで、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいている。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性がある。

緊急時応急措置指針番号 171

15. 適用法令

関連法規

農薬取締法

登録番号 第 25070 号

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
ナトリウム＝1，4－ビス[(2－エチルヘキシル)オキシ]－1，4－ジオキソブタン－2－スルホナート	213
アクリル酸重合物のナトリウム塩	161

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質(既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質(新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2(則 34 条の 2 別表2)

化学名	含有量(%)	備考
結晶質シリカ	>= 1 - < 10	ー
ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート	>= 0.1 - < 1	ー

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第57条(則 30 別表2)

化学名	備考
結晶質シリカ	ー

皮膚等障害化学物質(労働安全衛生規則第 594 条の2)

非該当

がん原性物質(労働安全衛生規則第 577 条の2)

化学名
結晶質シリカ

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第 2,3 条危険物告示別表第 1: 有害性物質

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: その他の有害物

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送　　有害液体物質には該当しない

個品輸送　　海洋汚染物質

水質汚濁防止法

指定物質（法第2条4項、施行令第3条の3）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律
産業廃棄物

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含む。2 項には政府による GHS 分類結果が反映されているため、11 項及び 12 項の試験結果と合致しない場合がある。
JIS Z 7252, JIS Z 7253　2025 に準拠

記載内容の取扱い

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。
この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品（当該製品）に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。
当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。

改訂履歴

前版発行年月	項目	改訂箇所および内容	改訂理由
2026 年 2 月 （第 1 版）	2 項	GHS 分類眼刺激性追加(区分 2B)	新たに製剤毒性試験群を実施し、改訂。
	8 項	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度　出典年度変更	Syngenta global データ改訂による見直し
	11 項	急性毒性 製品データ/成分データ（ジメスルファゼット）追加 皮膚腐食性/刺激性 製品データ追加 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 製品データ追加 呼吸器感作性 製品データ/成分データ（ジメスルファゼット）追加	新たに製剤毒性試験群を実施し、改訂。
	12 項	生態毒性 製品データ追加	新たに製剤毒性試験群を実施し、改訂。

	15項	登録番号追加	農薬新規登録による。